

事務事業名		公園施設維持管理事業			事務事業の性格	毎年繰返事業			開始年度事業期間	昭和 不明	年度から年度まで	
所属部門	建設都市整備課 公園緑地係			課長名	木村 淳彦			担当者名 内線番号	上田 勝哉 内線 ( 445 )			
総合計画体系	基本目標	快適で安全安心な暮らしを支えるまちづくり			予算科目	会計区分	款	項	目	予算上の事業名		
	政策名	都市空間の整備と有効な土地利用の推進				一般	7	4	4	公園施設等維持管理事業		
	施策名	快適な住環境の整備										

法令根拠 一

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

## ◇事務事業の目的と効果

## 1.手段(事業の概要)

- ①公園の種別により、直営及び地域による年間を通じた清掃、草刈、樹木剪定等を行う。  
②遊具点検・補修を行う。

## 2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など)

- ①公園利用者  
②市街地に設置した公園・緑地

## 3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

- ①公園の適切な維持管理により、公園・緑地としての機能が充実し、良好な住環境が確保される。

## 4.結果(どんな結果に結び付けるのか)

- ①公園を中心に、地域コミュニティの活動としての場として住民参加の拡大が図られ、世代間交流の活性化につながる。

## 5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)

名 称		単 位
①	清掃等を行った公園数	箇所
②	遊具数	基
③		

## 6.対象指標(対象の大きさを表す指標)

名 称		単 位
①	町民数	人
②	公園数	箇所
③		

## 7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)

名 称		単 位
①	修繕箇所数	箇所
②		
③		

## 8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名 称		単 位
①	町民の公園に対する満足度	%
②		
③		

## ◇総事業費・指標等の推移

→ 事務事業及び各指標の変更

 有 (年度から) 無

内 訳		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予算)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	32年度 (目標)
投 入 量	国・道支出金	円	7,014,600	9,066,600	15,830,000	34,025,000			
	地方債	円	6,300,000	8,100,000	14,200,000	30,600,000			
	その他(使用料等)	円	1,699,665	2,080,666	5,774,000	2,460,000			
	一般財源	円	43,336,249	49,971,597	76,090,000	80,054,000			
	事業費計(A)	円	58,350,514	69,218,863	111,894,000	147,139,000			
	正職員従事人数	人	4	3	3				
	人工数(業務量)	年間	3,1308	2,1900					
人 件 費	人件費計(B)	円	25,431,989	18,044,663					
	トータルコスト(A)+(B)	円	83,782,503	87,263,526	111,894,000	147,139,000			
活動指標	(1) 箇所		54	54	54	54			
	(2) 基		183	180	181	181			
	(3)								
対象指標	(1) 人		18,950	18,809	18,809	18,809			
	(2) 箇所		54	54	54	54			
	(3)								
成果指標	(1) 箇所		16	26	30	30			
	(2)								
	(3)								
上位成果指標	(1) %		75.1	73.2	75	75			
	(2)								
	(3)								

## ◇事務事業の環境変化

## 1.この事務事業を開始した背景

公共の施設である公園の設置により、維持管理が必要となつた。

2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか)  
公園管理の開始当時より更に安全な公園として遊具等の整備が強く求められるようになり、芽室町公園施設長寿命化計画に沿った適切な施設の修繕・更新・改築を推進していくが「公共施設等総合管理計画」や公園施設利用状況等を考慮し優先順位を考えた整備を進めることが重要となっている。

芽室公園の柏の木の劣化や腐朽が近年著しくなってきており、柏を後世に残していくために、柏の延命や後継木の植栽が必要となっている。

事務事業名	公園施設維持管理事業	所属部門	建設都市整備課	公園緑地係
◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記				
1.町民等からの意見・要望	<input checked="" type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】 施設が古くなっている公園が多く、施設更新の要望が多くなってきてている。		<input type="checkbox"/> 特定できる意見がない	

※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記

#### 評価の部(See) → 28年度実績からみた評価

目的妥当性評価	1.町の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】 なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならぬのか 町が設置した公園施設の維持管理である。	<input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	2.対象と意図の拡大・縮小余地	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】 対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか 現状の維持管理が適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
有効性評価	3.成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】 事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか 芽室町公園施設長寿命化計画に沿った公園施設の整備を進めることで、より安心して利用できる公園となる。	<input type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】 事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか 廃止・休止することで、公園の機能が低下し、安心して利用することができなくなる。また、同じ目的の事務事業がないため、統廃合することもできない。	<input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
効率性評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】 成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか シニアワークセンター(H16～)や町内会(H17～)に一部業務を担っていただいている、概ね地域管理については限界と考えられ、これ以上の削減は困難である。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
	6.受益と負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】 提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】

#### 改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(29年度以降)の計画

29年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)	改革・改善実施の方向性																										
		予算増大	目的拡充	2.改革・改善による期待成果																								
芽室町公園施設長寿命化計画に基づいた適切な施設の修繕・更新・改築を推進していくが「公共施設等総合管理計画」や公園施設の利用状況等を考慮しながら、優先順位を考えた整備が重要となっている。 芽室公園の柏を後世に残していくために、樹木診断・樹木治療による柏の延命を図るとともに、後継木の植栽も実施する。				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下				
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上			○																								
	維持																											
	低下																											
芽室町公園施設長寿命化計画に基づいた適切な修繕・更新・改築を優先順位を考えながら推進していく。 芽室公園の柏の木を後世に残していくために、樹木診断・樹木治療による柏の延命を図るとともに、後継木の植栽も実施していく。																												

※町民等の意見・要望に対する検討結果

公園施設の更新は公園施設利用状況等を考慮しながら、優先順位を考え推進していく。

事務事業名		花菖蒲園維持管理事業			事務事業の性格	毎年繰返事業			開始年度事業期間	昭和 62	年度から年度まで
所属部門	建設都市整備課 公園緑地係			課長名	木村 淳彦			担当者名 内線番号	上田 勝哉 ( 445 )	内線	
総合計画体系	基本目標	快適で安全安心な暮らしを支えるまちづくり			予算科目	会計区分	款	項	目	予算上の事業名	
	政策名	都市空間の整備と有効な土地利用の推進				一般	7	4	4	花菖蒲園維持管理事業	
	施策名	快適な住環境の整備									

法令根拠 一

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

## ◇事務事業の目的と効果

## 1.手段(事業の概要)

- ①花菖蒲植栽畑耕作、病虫害駆除、雑草除去、株分け  
②日本花菖蒲協会への負担金支出

## 2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など)

- ①花菖蒲及び花菖蒲園

## 3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

- ①花菖蒲の適切な維持管理を行い、良好な花菖蒲を成育させる。  
②魅力ある花菖蒲園にする。

## 4.結果(どんな結果に結び付けるのか)

- ①自然と触れ合う場の整備、公園・緑地・広場の整備

## 5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)

名 称	単 位
① 花菖蒲園の面積	m <sup>2</sup>
② 負担金支出	円
③	

## 6.対象指標(対象の大きさを表す指標)

名 称	単 位
① 維持管理日数	日
②	
③	

## 7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)

名 称	単 位
① 良好な成育をした花菖蒲園の面積	m <sup>2</sup>
② 来園者数(イリス・フェスタ)	人
③ 管理している花菖蒲の種類	種

## 8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名 称	単 位
① 町民の景観への満足度	%
②	
③	

## ◇総事業費・指標等の推移

→ 事務事業及び各指標の変更



(H29年度から)



無

内 訳		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予算)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	32年度 (目標)
投 入 量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円	227,700	227,400					
	一般財源	円	8,707,434	1,880,873	2,312,000	2,930,000			
	事業費計(A)	円	8,935,134	2,108,273	2,312,000	2,930,000			
	正職員従事人数	人	4	3	3				
	人工数(業務量)	年間	0.5575	0.5400					
	人件費計(B)	円	4,528,662	4,449,369					
トータルコスト(A)+(B)		円	13,463,796	6,557,642	2,312,000	2,930,000			
活動指標		(1) m <sup>2</sup>	27,000	27,000	27,000	27,000			
		(2) 円	4,000	4,000	4,000	4,000			
		(3)							
対象指標		(1) 日	90	78	90	90			
		(2)							
		(3)							
成果指標		(1) m <sup>2</sup>	27,000	27,000	27,000	27,000			
		(2) 人	880	1,277	-	-			
		(3) 種	617	376	414	452			
上位成果指標		(1) %	74.8	75.6	80	80			
		(2)							
		(3)							

## ◇事務事業の環境変化

## 1.この事務事業を開始した背景

芽室公園の魅力づくりとして始めた花菖蒲園の開園により維持管理が必要となった。

## 2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか)

開園当時と比較すると、種類・植栽本数ともに大幅に増加したが、平成28年度の災害により大幅に菖蒲の種類が消滅した。平成29年度から3カ年計画で株の購入を行い復旧を目指す。

平成26年度に緑町公営住宅跡地の宅地分譲が始まったことにより、花菖蒲園の周辺環境が変化し、花菖蒲園の維持管理に影響がでることが考えられる。

事務事業名	花菖蒲園維持管理事業	所属部門	建設都市整備課	公園緑地係
◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記				
1.町民等からの意見・要望	<input checked="" type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】 花菖蒲園は芽室遺産として登録されており、町民の生活に潤いを与えるとともに、多くの観光客の集客が見込まれているため、適切な維持管理を行うことが求められている。芽室町内外を問わず花菖蒲園に対する賞賛や維持管理についての激励をいただいている。  ※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記			

評価の部(See) → 28年度実績からみた評価	
目的妥当性評価	<b>1.町の関与の必要性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】 なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならぬのか  町が設置した花菖蒲園の維持管理である。
	<b>2.対象と意図の拡大・縮小余地</b> <input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】 対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか  現在の規模及び種類が、適切な維持管理を行う上で最適であると同時に、来園者がゆっくり鑑賞できる規模である。
有効性評価	<b>3.成果の向上余地</b> <input type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】 事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか  施設規模等の状況を考えると、現在の直営による維持管理は適切であると判断する。
	<b>4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地</b> <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】 <input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】 全国からも関心を寄せられている花菖蒲園は、観光施設として定着しており、廃止・休止した場合、芽室町の魅力が低減する。 また、同じ目的の事務事業がないため統廃合の余地もない。
効率性評価	<b>5.事業費(トータルコスト)の削減余地</b> <input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】 成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか  公共以外にノウハウを持つ者が少なく、また、直営の一部を臨時職員で対応していることから、同程度のレベルを堅持するための民間育成は時間を要し、事業費・業務時間を縮減することは困難である。
公平性評価	<b>6.受益と負担の適正化余地</b> <input type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】 提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(29年度以降)の計画																											
1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)	改革・改善実施の方向性																										
29年度の取組	<table border="1"> <tr> <td>芽室遺産の一つでもある芽室公園内の花菖蒲園は、開花時期には町内外から多くの人が訪れ、適切な維持管理が求められる。平成28年度の災害により大幅に菖蒲の種類が消滅したため、平成29年度から3ヵ年計画で株の購入を行い復旧を目指す。            また、緑町公営住宅跡地の宅地分譲による花菖蒲園の周辺環境の変化について考察する。</td><td>現状維持</td></tr> <tr> <td colspan="2">2.改革・改善による期待成果</td></tr> <tr> <td></td><td> <table border="1"> <tr> <td></td><td colspan="3">コスト</td></tr> <tr> <td></td><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr> <tr> <td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>成果維持</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr> <td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> </td></tr> </table>	芽室遺産の一つでもある芽室公園内の花菖蒲園は、開花時期には町内外から多くの人が訪れ、適切な維持管理が求められる。平成28年度の災害により大幅に菖蒲の種類が消滅したため、平成29年度から3ヵ年計画で株の購入を行い復旧を目指す。 また、緑町公営住宅跡地の宅地分譲による花菖蒲園の周辺環境の変化について考察する。	現状維持	2.改革・改善による期待成果			<table border="1"> <tr> <td></td><td colspan="3">コスト</td></tr> <tr> <td></td><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr> <tr> <td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>成果維持</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr> <td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上				成果維持			○	低下			
芽室遺産の一つでもある芽室公園内の花菖蒲園は、開花時期には町内外から多くの人が訪れ、適切な維持管理が求められる。平成28年度の災害により大幅に菖蒲の種類が消滅したため、平成29年度から3ヵ年計画で株の購入を行い復旧を目指す。 また、緑町公営住宅跡地の宅地分譲による花菖蒲園の周辺環境の変化について考察する。	現状維持																										
2.改革・改善による期待成果																											
	<table border="1"> <tr> <td></td><td colspan="3">コスト</td></tr> <tr> <td></td><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr> <tr> <td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>成果維持</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr> <td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上				成果維持			○	低下									
	コスト																										
	削減	維持	増加																								
向上																											
成果維持			○																								
低下																											

事務事業名		公園管理事務所維持管理事業		事務事業の性格	毎年繰返事業		開始年度事業期間	昭和 61	年度から年度まで
所属部門	建設都市整備課		公園緑地係	課長名	木村 淳彦		担当者名内線番号	上田 勝哉	内線( 445 )
総合計画体系	基本目標	快適で安全安心な暮らしを支えるまちづくり		予算科目	会計区分	款	項	目	予算上の事業名
	政策名	都市空間の整備と有効な土地利用の推進			一般	7	4	4	公園管理事務所維持管理事業
	施策名	快適な住環境の整備							

法令根拠 一

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

## ◇事務事業の目的と効果

## 1.手段(事業の概要)

- ①管理事務所・倉庫及び設備の管理  
②維持管理作業をするための管理機械の保管

## 2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など)

- ①公園等を利用する町民

## 3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

- ①快適で安全な公園にするために行う拠点であり、トラブル・苦情などの管理業務に速やかに対応する。

## 4.結果(どんな結果に結び付けるのか)

- ①安心して楽しむことができる場を提供することにより、子どもや保護者が公園を利用し、世代間の交流が図られる。

## 5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)

名 称		単 位
①	公園詰所面積	m <sup>2</sup>
②	公園詰所箇所	箇所
③		

## 6.対象指標(対象の大きさを表す指標)

名 称		単 位
①	町民数	人
②		
③		

## 7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)

名 称		単 位
①	管理する公園の数	箇所
②		
③		

## 8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名 称		単 位
①	町民の公園に対する満足度	%
②		
③		

## ◇総事業費・指標等の推移

→ 事務事業及び各指標の変更

 有 (年度から) 無

内 訳		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予算)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	32年度 (目標)
投 入 量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円							
	一般財源	円	246,141	321,079	272,000	268,000			
	事業費計(A)	円	246,141	321,079	272,000	268,000			
	正職員従事人数	人	4	3					
	人工数(業務量)	年間	0.3675	0.1700					
	人件費計(B)	円	2,985,261	1,400,727					
トータルコスト(A)+(B)		円	3,231,402	1,721,806	272,000	268,000			
活動指標		(1) m <sup>2</sup>	288	288	288	288			
		(2) 箇所	1	1	1	1			
		(3)							
対象指標		(1) 人	18,950	18,809	18,809	18,809			
		(2)							
		(3)							
成果指標		(1) 箇所	54	54	54	54			
		(2)							
		(3)							
上位成果指標		(1) %	75.1	73.2	75	75			
		(2)							
		(3)							

## ◇事務事業の環境変化

## 1.この事務事業を開始した背景

迅速かつ的確な公園の維持管理作業を行なうための場の確保。

## 2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか)

直営で行う維持補修の作業スペースや管理機械の保管場所が平成17年度に確保された。さらに、平成20年度より東めむろ地区の公園増加に対応するため、芝刈機や臨時職員の増員をした。よって、公園管理事務所の維持管理は今後も継続する。

また、車両センターの改築及び再配置計画の検討と同時に、公園事務所についても調整を図る。

事務事業名	公園管理事務所維持管理事業	所属部門	建設都市整備課	公園緑地係
◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記				
1.町民等からの意見・要望	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】	<input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない		

この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか

※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記

評価の部(See) → 28年度実績からみた評価

目的妥当性評価	1.町の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】 なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならぬのか 町が設置した公園の維持管理を行うため。	<input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	2.対象と意図の拡大・縮小余地	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】 対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか 現状の維持管理が適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
有効性評価	3.成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】 事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか 公園管理事務所を拠点に、原材料、維持管理機械を備えているため、適期の管理や苦情等に対する迅速な対応が図られる。そのため、現状の事務所機能を維持する必要がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】 事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか 公園の維持管理を行う上で事務所は重要な役割を果たしており、町民要望にきめ細やかに対応するためには必要不可欠な施設である。 また、同じ目的の事務事業はないため、統廃合の余地もない。	<input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
効率性評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】 成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか 施設管理費は既に抑制している。人件費については臨時職員対応で削減を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
	6.受益と負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】 提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(29年度以降)の計画

29年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入) 車両センター改築及び再配置計画の検討と同時に公園管理事務所についても協議していく。	改革・改善実施の方向性											
		現状維持		2.改革・改善による期待成果									
30年度以降の取組	車両センター改築及び再配置計画の検討と同時に公園管理事務所についても協議していく。			<table border="1"> <tr> <td></td><td>コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td><td></td> </tr> <tr> <td>維持</td><td></td> </tr> <tr> <td>増加</td><td></td> </tr> </table>		コスト	削減		維持		増加		
	コスト												
削減													
維持													
増加													
	※町民等の意見・要望に対する検討結果	向上											
		成果維持			○								
		低下											